

中部地域「デジタルものづくり研究会」

あいち産業科学技術総合センター、岐阜県産業技術総合センター、岐阜県セラミックス研究所、三重県工業研究所、富山県産業技術研究開発センター、石川県工業試験場、福井県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所、名古屋市工業研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター

授与の理由

- デジタルものづくりに関する知財権や最新の技術動向等について学ぶワークショップ等を平成27年度以降、年間2～3回開催。これまでに300人を超える公設試職員や70社以上の企業から100名も受講し、3Dプリンタ等デジタル技術分野における公設試の支援力向上や地域企業の理解度、技術力向上に貢献した。
- さらに、広域での公設試間の情報共有で補正予算等の事業提案にも貢献している。

活動内容

「デジタルものづくり研究会」について

- 平成27年度に東海北陸産技連において、「デジタルものづくり研究会」を設置。3Dプリンタの活用事例を学ぶとともに、公序良俗に反する使用等を防止する観点から、公設試での利用規約のひな形を整備。平成30年度からは、意匠権に着目し、3Dプリンタ・データとの関係性等について、弁理士を交えた意見交換等を実施。
- 令和2年度からは、デジタルツール（トポロジー最適化等）や最新の加工法等について、より実践形式で学ぶ場を設けている。
- デジタル技術分野における公設試の支援機能の向上と企業支援をする際の留意点や問題点等の共有、人材育成等に大いに貢献しているほか、広域（東海及び北陸）での予算の獲得にも繋がっている。

